

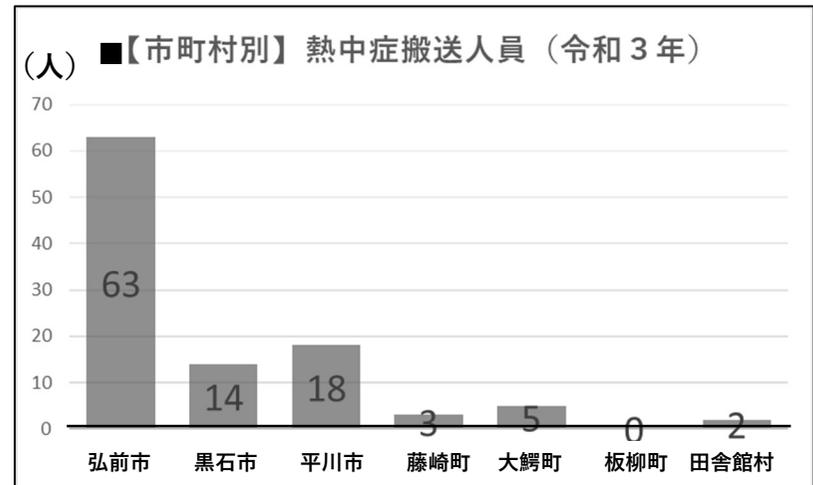
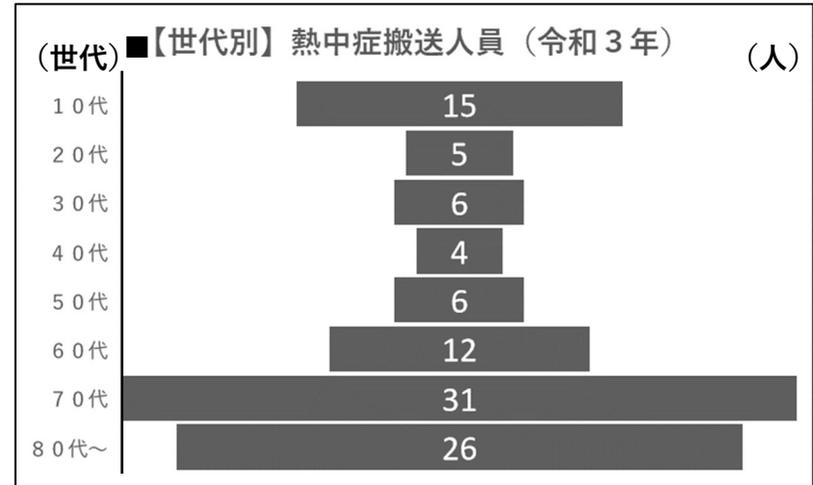
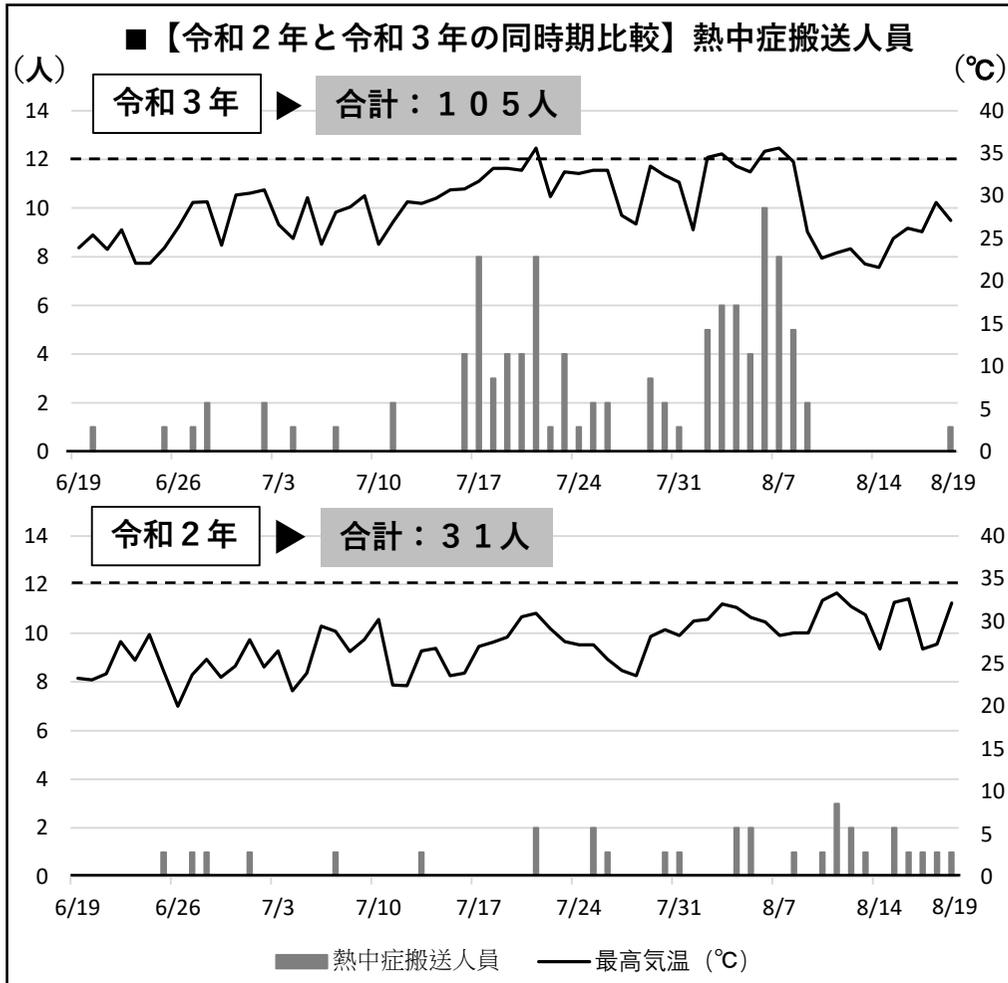
1 暑さ対策について

資料 1

R3.9.10 一般質問資料
葛西勇人作成

(1) 現状

- ・今年は最高気温 35 度前後の日が連続したため、**熱中症搬送人員が前年比 5 倍**となる。
- ・今年の熱中症搬送人員のうち **70 歳以上の高齢者が、全体の 5 割強**を占めている。
- ・今年の熱中症搬送人員の中で、当市は、弘前市に次いで多い状況である。



※令和2年及び令和3年6月19日から8月19日までの、弘前地区消防事務組合管轄の市町村内における熱中症（疑い含む）事案出動状況

資料：弘前地区消防事務組合

1 暑さ対策について

資料 2

R3. 9. 10 一般質問資料
葛西勇人作成

(2) 課題

- ・熱中症対策に関する**総合的施策がない**。
- ・熱中症警戒アラート発令時や連続した真夏日予報時に、市民が**一時的に暑さをしのぐために公的施設を開放する運用になっていない**。
- ・クーラー購入（買い換え含む）**支援策がない**。
- ・市民に対して、**熱中症の予防と対処法に関する情報提供の機会が少ない**。

(3) 要望

災害級の暑さによる健康被害から市民を守るべく、**熱中症予防のための環境づくりを要望**

- ①「暑さ対策」を、当市長期総合プランの「安全・安心なまちづくり」における**主要施策**に加えて、その環境づくりに取り組む。
- ②**全指定緊急避難場所にクーラーを設置**。もし熱中症の危険が予見された場合は、そこを市民の**一時避難場所として開設**する。
- ③**経済的弱者へのクーラー購入・設置支援**。
- ④**熱中症の予防・対処法の普及啓発の推進**。
- ⑤**暑さ対策情報ポータルサイトの開設**。

※暑さ対策に関する先進事例として、右記の大阪府の暑さ対策「暑さから身を守る3つの習慣」を参照願います。

(先進事例)

大阪府の暑さ対策「暑さから身を守る3つの習慣」

① 備える習慣

暑さにつよい「からだづくり」 * 10の健康づくり活動の推進！

【主な取り組み】

- ・暑くなる前の時期から汗をかく**運動の継続**を啓もう活動
- ・「熱中症」を知り、汗をかいた時はこまめに水分・塩分補給

② 気づく習慣

暑さを知らせる「情報の活用」 * 危険な暑さに気づく！

【主な取り組み】

- ・熱中症警戒アラートのメール配信サービスの実施
 - ・暑さ指数（※）メール配信サービス（無料）の活用
- ※「暑さ指数（℃）」とは、気温の他に湿度なども考慮した熱中症予防の数値。
25℃以上「警戒」、28℃以上「嚴重警戒」、31℃以上「危険」となる。

③ 涼む習慣

暑さをしのぐ「クーラーの利用」 * 自分の感覚だけに頼らない！

【主な取り組み】

- ・特に高齢者等へのクーラー利用促進を啓もう活動
- ・古いクーラーの最新機種への買い替え促進（省エネ化）
- ・経済的な事情等によりクーラーを所有していない世帯への資金貸付（生活福祉資金貸付制度）及び必要な相談支援
- ・「おおさかクールオアシスプロジェクト」
涼しい空間を提供する一時避難所（協力施設、店舗）を設置

参照：大阪府暑さ対策情報ポータルサイト

温暖化を考慮し、今から当市として「暑さ対策」に取り組むことを要望！

資料 3

R3. 9. 10 一般質問資料
葛西勇人作成

2 資源物の回収促進について

(1) 現状

- ・いまだに**資源物が入っている燃えないゴミ袋**が散見され、分別回収が徹底されていない。
- ・「**プラスチック資源循環促進法**」による**プラスチック資源の分別回収**、再商品化の促進

(2) 課題

- ・本市として「**ごみの減量化と再資源化の推進**」に取り組んでいるが、マンネリ化してきているため、更なる資源物回収の意識啓発とその促進に取り組む必要がある。

(3) 要望

- ・本市の資源物の回収促進のため、以下の3点を要望

NO.	目的	具体的な取り組み	検討項目
① 市民への資源物回収関連情報の公開			
	・市民への資源の有効利用、ごみの減量意識を啓発し、分別する行動の促進	・ 情報ポータルサイト開設 ※回収状況、収入額、再資源化の流れ、回収促進事例などの情報提供	・ 有効な情報内容の精査 ・更新頻度などの運用方法 ・市民への周知・普及策
② 町会ごとに資源物の回収量に応じた報奨金の交付			
	・町会ごとに、その 実情に応じた取り組み を検討・実施する動議付け	・ 回収量に応じた報奨金を交付 ※報奨金額は、「資源ごみ集団回収報奨金」事業を参考にする	・ 回収量の計測方法 ・有効性ある報奨金額の設定 ・市の財政的負担
③ 資源物回収ステーションの増設 (※現在、健康センター、尾上総合支所、碓ヶ関総合支所の3箇所に設置)			
	・市民がいつでも排出できる環境を整備することで、 家庭内保管負担を低減	・ 世帯数の多い町会への設置 ・複数の町会が連携して設置 ※まずは 実証実験 の実施を要望	・排出時間などのルール設定 ・不法投棄などの防止策 ・ ステーションの維持管理

本市として「**資源循環型社会**」「**低炭素社会**」実現に向けて更なる取り組みが必要！

資料 4

R3. 9. 10 一般質問資料
葛西勇人作成

3 平川市陸上競技場・インフィールドの人工芝化の実現可能性について

(1) 前回の提案

- ・平川市陸上競技場を、サッカーなどの運動競技で通年利用でき、またいつでもスパイクの使用を可能とするため、そのインフィールドの天然芝を人工芝にすることを提案。

(2) 前回の教育長、事務局長答弁の概要

- ・人工芝化した場合、概ね1億円程度の予算が必要。toto助成金活用しても**費用負担が大きい**。
- ・（陸上の練習場所として）**人工芝化について**今の段階では分からないが**可能**だとは思いますが。

(3) 天然芝と人工芝の比較

	メリット	デメリット
天然芝	<ul style="list-style-type: none">・季節感を感じながら表情の変化を楽しめる・夏場は涼しくリラックス効果が期待できる・施工時での材料などの初期コストは安い・メンテナンスよければいつまでも利用可能	<ul style="list-style-type: none">・冬になれば変色したり、枯れるリスクもある・運動競技の利用方法によっては使用制限あり・芝刈り、水やり、雑草対策など定期的メンテナンスが必要なため、維持管理費が高い
人工芝	<ul style="list-style-type: none">・敷く場所を選ばず、通年芝空間を利用可能・耐久性に優れているため、運動競技の利用方法による使用制限はほぼない・メンテナンスいらずで維持管理費が不要	<ul style="list-style-type: none">・通年変化がないため季節感がない・人工的な見た目は否めない・施工時での材料などの初期コストが高い・耐用年数：10年程度（芝が寝てしまうため）

個人調べ

(4) 人工芝化の実現可能性についてのご質問

- ①**費用面以外**での課題の有無、及び課題がある場合はどのような課題があるのか？
- ②天然芝、人工芝各々の**整備にかかる初期費用**（toto助成金含む）と年間維持費はいくらか？

平川市陸上競技場の利活用推進のため、インフィールドの人工芝化を強く要望！